

〔ピラクロニル粒剤〕

農林水産省登録 第22225号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1 kg×12、4 kg×4

兆[®] 1 キ ロ 粒 剤

有効成分：ピラクロニル ……………1.8%

除草剤分類 14



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10 アール 当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ヒルムシロ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植時	1 kg	本 剤：1 回 ピラクロニル：2 回	田植同時散布機で施用
		植代後～ 移植 7 日前 又は移植直後～ ノビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ヒルムシロ	は種時			は種同時散布機で施用
		湛水直播のは種直後～ 稲出芽前 ただし 収穫 60 日前まで			落水散布 又は 無人航空機 による散布
		湛水直播の稲出芽始期～ ノビエ 1.5 葉期 ただし 収穫 60 日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	発生始期まで	クサネム	本葉 1 葉期まで
ヘラオモダカ	発生始期まで	クログワイ	発生前
ウリカワ	発生始期まで	コウキヤガラ	発生前
ヒルムシロ	発生期まで	ナガエツルノゲイトウ	再生始期
オモダカ	発生前～発生始期	アオミドロ・藻類による 表層はく離	発生前

○雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの 1.5 葉期までに時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意する。

- オモダカ、クサネム、クログワイ、コウキヤガラ、ナガエツルノゲイトウ、藻類による表層はく離は発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用(但し、オモダカは有効な前処理または後処理剤)。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しない。
- 植代後から移植7日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平は丁寧に行い、浮遊物のワラくずなどのごみは出来るだけ取り除く。散布後は少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 移植後に使用する場合は、水の出入りを止め湛水状態で均一に散布する。本剤散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 直播水稻で使用する場合には次のことに注意する。
 - 稲出芽前に使用する場合はできるだけ落水状態にして散布し、確実に出芽が確認できるまでは入水しない。
 - 稲出芽時に湛水状態になると苗立ち数の低下を生じる場合があるので注意する。
 - 稲出芽始期以降は湛水状態で散布する。
 - 表面は種では薬害を生じるので、土中は種で使用する。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 後処理剤との組み合わせで使用する。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意する。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からほ場内に散布する。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意する。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 容器等はほ場などに放置せず、適切に処理する。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用する。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に

影響を与えないように適切に処理する。

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- ノピエをはじめ幅広い雑草に効きます。
- S U抵抗性雑草にしっかり効果を発揮します。
- 有効成分がひとつの初期除草剤です。